

JVC

リモートマイクロホン

型名 **PA-C50 PA-C51**
PA-C52 PA-C53

取扱設置説明書



(写真はPA-C53です)

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱設置説明書」をお読みのうえ、
正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全に
お使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、
必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際
は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製
造番号と保証書に記載されている製造番号が一致してい
るかお確かめください。

もくじ

お客様へ

取扱説明 **2~5**

設置業者様へ

設置説明 **6~19**

取扱説明

もくじ

特長	2
安全上のご注意	2
取扱上のご注意	2
保証とアフターサービスについて	2
1. 各部のなまえとはたらき	3
2. 放送のしかた	4
3. 仕様	5

特長

- フレキシブルマイクロホンを使用
- チャイムスイッチ付
- 本体使用中と放送中が2色で区別できます。
- ライン入力端子装備
CDプレーヤーやカセットデッキからBGMやメッセージを放送することができます。

安全上のご注意

■安全にお使いいただくために

- ・セット内部に触れることは危険なうえに故障の原因となります。内部の点検や調整は設置業者へお任せください。
- ・ぬれた手で使用しないでください。本機の内部に水や金属、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。

■本機に異常が起きたら

- ・変な音やにおいやけむり等ができるなどの故障状態のまま使用すると危険です。すぐ設置業者に修理をご依頼ください。

取扱上のご注意

■内部の点検および調整は

セットの内部に触れることは、危険なうえ故障の原因となります。
点検および調整は設置業者にお任せください。

■お手入れ

ケースの汚れは乾いた布で拭いてください。ひどい汚れは中性洗剤で汚れを落としてから乾いた布でふきとります。このとき内部に水や洗剤がはまらないように注意してください。

保証とアフターサービスについて

■保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡しますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

■サービス窓口

- ・下記URLをご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・業務用修理窓口(045-939-7320)

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

- ・品名：リモートマイクロホン 型名：PA-C50/C51/C52/C53
- ・リモートマイクロホン(PA-C50/C51/C52/C53)によって動作する機器：例) PA-604
- ・故障の状況をできるだけ具体的に
- ・お買い上げ日 ご住所 お名前 電話番号

■商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

1. 各部のなまえとはたらき

フレキシブルマイク

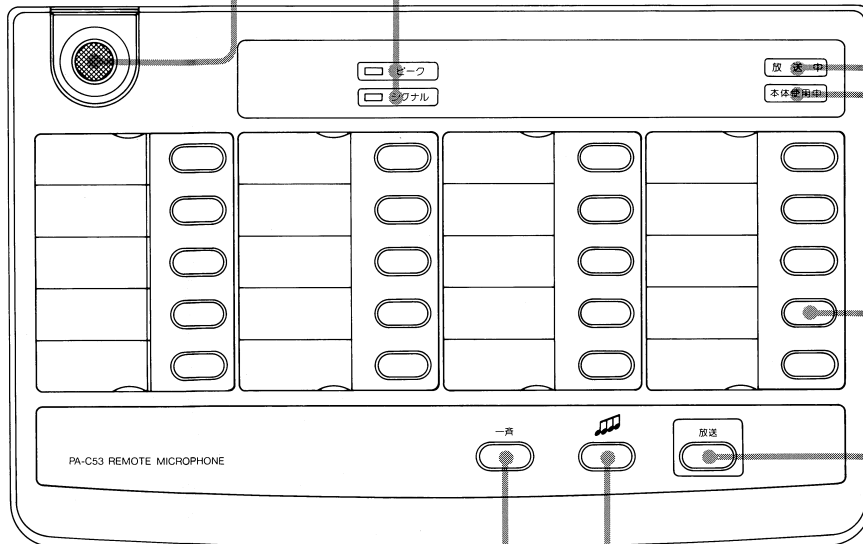
- 本機からマイク放送するとき使います。

出力レベル表示灯

- 放送される音のレベルを示します。

放送中表示灯

- 放送スイッチを押すと点灯し、本機使用中を示します。



本体使用中表示灯

- 放送設備が使用されているとき、点灯します。また、本機を使用しているときも点灯します。

放送場所選択スイッチ

- 放送場所を選びます。

一斉放送スイッチ

- 一斉放送するとき、押します。
- ※PA-C50にはありません。

チャイムスイッチ

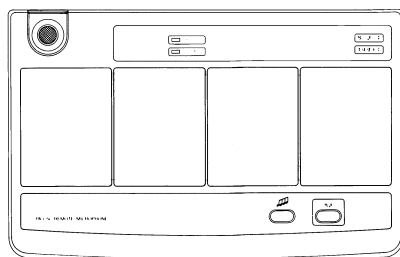
- 押すと、放送設備のチャイムが鳴ります。

放送スイッチ

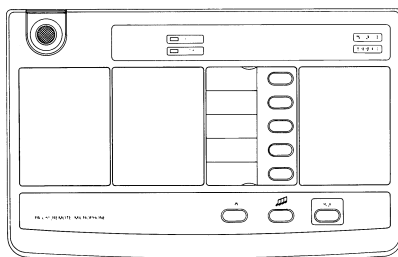
- 放送するとき、押します。

本機は PA-C53 です。

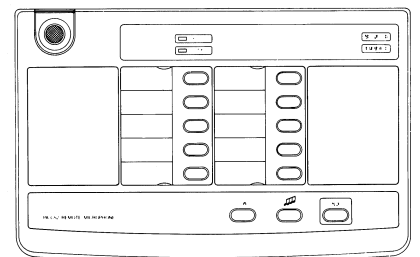
PA-C50, C51, C52 のスイッチの配置



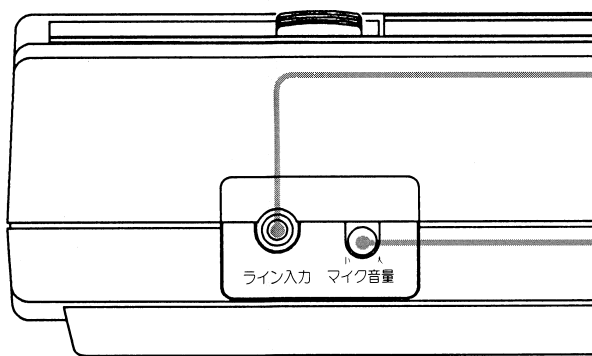
PA-C50 (一斉式)



PA-C51 (5回線)



PA-C52 (10回線)



ライン入力 (入力レベル: -10dBs)

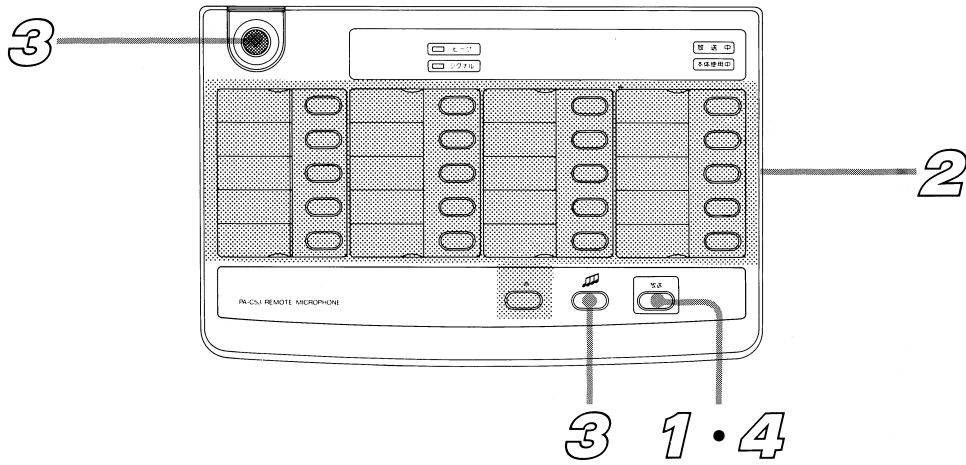
- CDプレーヤー、カセットデッキなど接続します。
- 入力端子は3.5φステレオミニジャックを使用。

マイク音量

- フレキシブルマイクの音量を調整します。

2. 放送のしかた

マイク放送のしかた



1 放送スイッチを押す。



接続する放送設備によって、本機と放送設備の優先順位が異なるので、**放送スイッチ**を押しても放送できないことがあります。

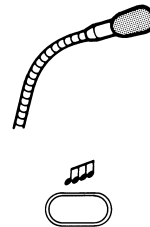
2 放送場所選択スイッチまたは一斉放送スイッチを押し、放送場所を選ぶ。

PA-C50の場合は、この操作はありません。



3 フレキシブルマイクに向かって話す。

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチを押します。



放送設備によっては**放送場所選択スイッチ**または**一斉放送スイッチ**を押してもすぐに放送できないことがあります。

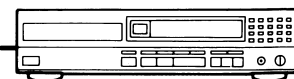
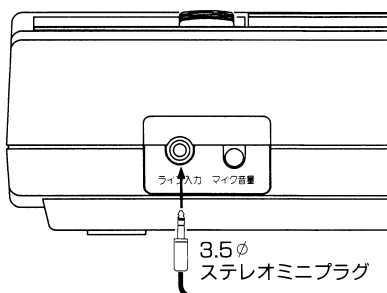
4 放送を終えるときは、放送スイッチをもう一度押します。

次回放送するときに放送先の選択間違いのないように、全ての**放送場所選択スイッチ**、**一斉放送スイッチ**を解除することをおすすめします。



ライン入力を使った放送を行う前には下記のような接続を行ってください。

ライン入力の音声はフレキシブルマイクの音声とミキシングされ出力します。



CDプレーヤー、カセットデッキなど音量の調節が可能な機器を使用してください。

3. 仕様

	PA-C50	PA-C51	PA-C52	PA-C53
放送場所数	一斉	5 + 一斉	10 + 一斉	20 + 一斉
フレキシブルマイク	エレクトレットコンデンサ型			
ライン入力	ステレオミニジャック 入力レベル: -10dBs (内部の調整ボリュームにより可変、出荷時 -4dBs: 不平衡) 入力インピーダンス: 2k Ω			
音声出力	出力レベル: 0dBs (平衡) 出力インピーダンス: 100 Ω			
出力レベル表示灯	2点 LED (ピーク/シグナル)			
その他の表示灯	本体使用中表示灯 (赤) 放送中表示灯 (緑)			
チャイム	スイッチ操作により放送設備のチャイムを起動			
電源	DC24V、55mA (放送設備より供給される)			
寸法 (フレキシブルマイクを含まず)	幅250mm×高さ60mm×奥行160mm			
質量	1.9kg	1.95kg	2.0kg	2.1kg

設置説明

ここからは設置説明です。本機を設置なさる設置業者がお読みください。
設置作業は、かならず放送設備の電源を切った状態で行ってください。

もくじ

接続する放送機器に添付している説明書も参考にしてください。

1. 設置する前に	6	5-3 デスク型音響装置PAC-5200、6200、7200シリーズへの接続	12
■放送設備の設定 ■使用ケーブルについて ■設置の手順		(1) 区域別制御を行う場合の接続例	12
2. フロントカバーのはずしかた	7	(2) 回線別制御を行う場合の接続例	13
3. ワンタッチ端子の使いかた	7	5-4 AVコミュニケーションシステムAV-8000/8200シリーズへの接続	14
■ワンタッチ端子への結線のしかた		5-5 システムアンプPA-600シリーズへの接続	15
■ワンタッチ端子からのはずしかた		5-6 インテリジェントPAシステムEM-D200/D100シリーズへの接続	16
4. ケーブルの引き込みかた	8	5-7 壁掛型非常用放送設備K-50S/50SV/50Uシリーズへの接続	17
4-1 机上に設置する場合		5-8 ウォールシステムアンプPA-K30シリーズへの接続	18
4-2 壁面に設置する場合		5-9 一斉式非常用放送設備EP-K60シリーズへの接続	18
5. 各機器への接続	9	6. フレキシブルマイクの取り付けかた	19
5-1 インテリジェントPAシステムEM-E500/E500V/E500VDへの接続	9	6-1 机上に設置する場合	19
(1) 一元放送の場合	9	6-2 壁面に設置する場合	19
(2) 多元放送の場合	10	7. 音量の調整	19
5-2 インテリジェントPAシステムEM-E200/E100シリーズへの接続	11	8. ネームカードへの記入のしかた	19

1. 設置する前に

■放送設備の設定

本機を次にあげる放送設備に接続する場合には、プログラムの書き込みが必要になります。
放送設備の設置説明書や書き込み説明書（書き込みのしかた）にしたがって、通常リモコンまたはリモコンマイクのプログラムの書き込みを行ってください。

EM-E500/E500V/E500VD シリーズ

EM-E200/E100 シリーズ

AV-8000/8200 シリーズ

K-50S/50SV シリーズ

EM-K80/K80D シリーズ

（接続については、**EM-K80/K80D**シリーズに添付している説明書を参照してください。）

プログラムの内容は、将来システムの変更、増設時に必要となりますので、プログラムシートまたは音声系回線ブロック表の写しをお客様へお渡しください。

■使用ケーブルについて

本機と放送設備間の接続には、CPEV（対より）ケーブルを使用してください。

音声線はペアで使用してください。

注意 ノイズ、発振などの影響が考えられるときは、音声線のみシールドケーブル(MVVSケーブル)を使用してください。

ケーブル長は以下のようにしてください。

ケーブル長	150m	300m	500m
導体外径	0.65mm	0.9mm	1.2mm

ケーブルの抵抗は1線あたり10Ω以下としてください。

— 多元放送とは —

複合ビルなどでは、各ブロックごとに同時に異なる放送（呼び出し、BGM等）を行なうことがあります。このようにブロックごとに別々の放送を行なうことを多元放送といいます。この放送を実施するためには、インテリジェントPAシステム（**EM-E500/E500V/E500VD**シリーズ）とマトリックスコントロールユニット（**PA-MX52**）の組み合わせが必要です。

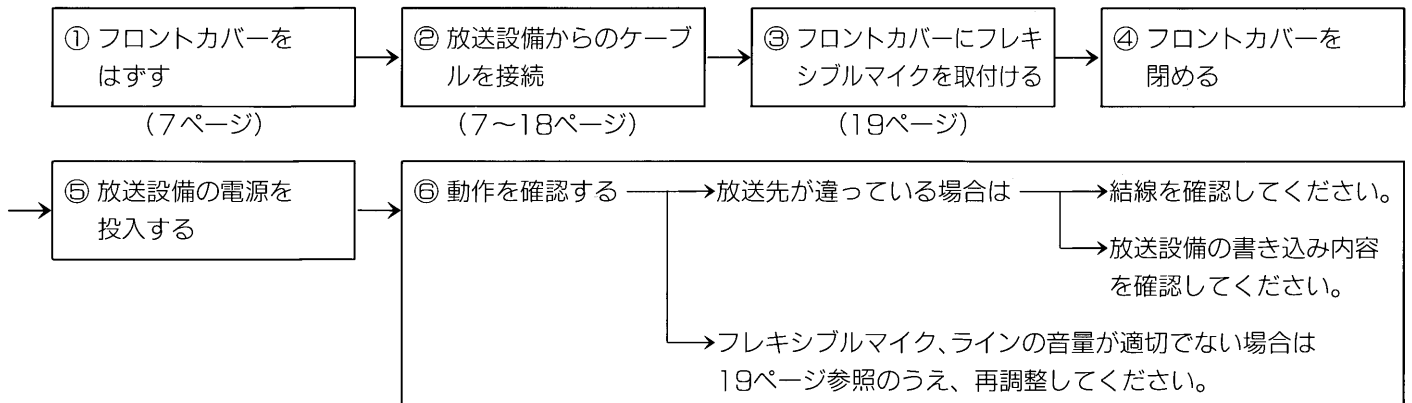
■スイッチの許容電流容量について

本機に使用しているスイッチの許容電流容量は0.5Aです。

次の放送機器に接続する場合は許容電流容量を越える場合がありますので、サービス窓口へご相談ください。

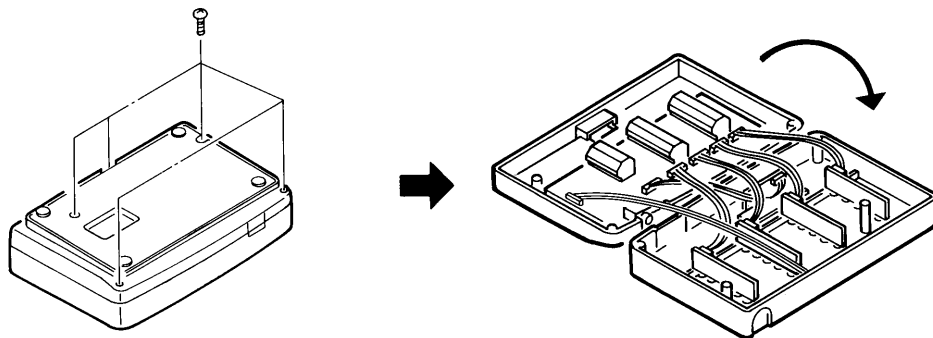
R-12S/15S/22Sシリーズに接続する場合
R-32Sシリーズに接続する場合
PA-X23を3台以上使用する放送機器に接続する場合
EM-D13を4台以上使用するEM-D100/D200シリーズに接続する場合

■設置の手順



2. フロントカバーのはずしかた

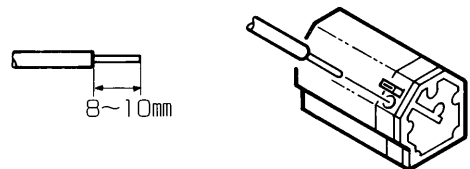
本機を裏返し、下図部のネジ5本をはずします。



3. ワンタッチ端子の使いかた

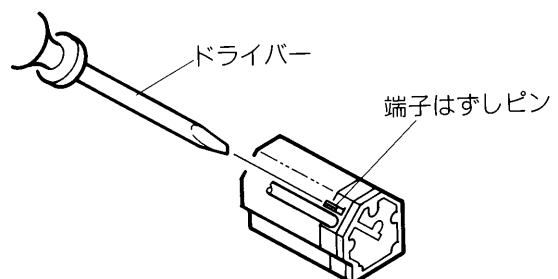
■ ワンタッチ端子への結線のしかた

- ① ケーブルの被ふくを約8~10mmとります。
- ② 芯線を端子穴の奥までまっすぐ確実に差し込みます。
- ③ ケーブルを引っばって抜けないことを確認します。



■ ワンタッチ端子からのはずしかた

- ① 端子はずしピンをマイナスドライバー（小、幅3mm以下）で押します。
- ② 押した状態のままケーブルを引き抜きます。



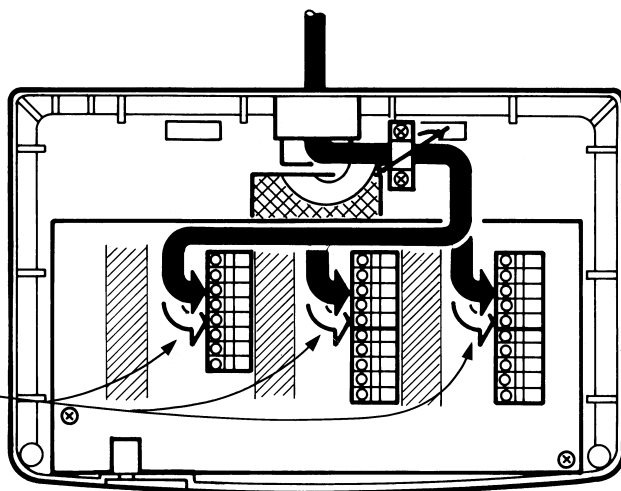
4. ケーブルの引き込みかた

PA-C50 シリーズは机上に設置される場合と壁面に設置される場合により、ケーブルの引き込みかたが異なります。

➡ 机上設置

⇨ 壁面設置

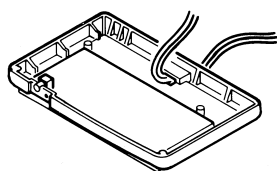
右図の斜線部にはスイッチ基板がきます。ケーブルが斜線部の位置にないようにしてください。



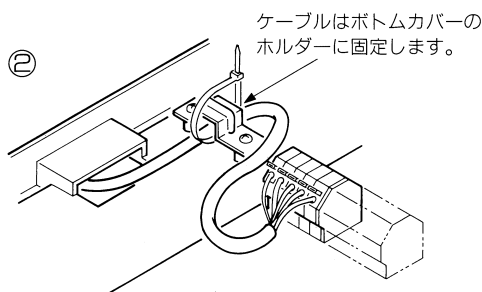
通線孔を通り、ホルダーを通った後のケーブルのまわしかたは、机上設置と壁面設置とでそれぞれ左図のようになります。

4-1 机上に設置する場合

①



②



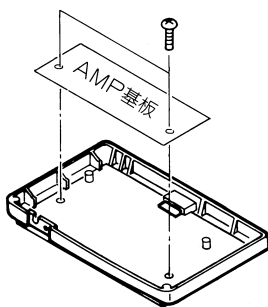
① 通線孔からケーブルを引き込みます。

② ケーブルをボトムカバーのホルダーへ固定します。

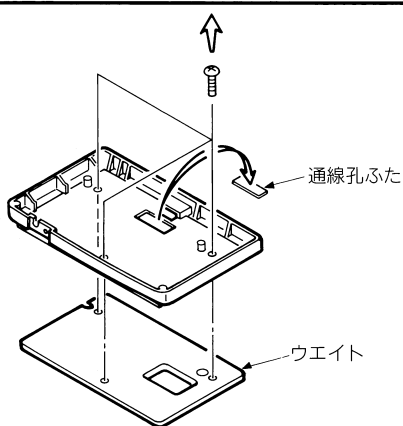
4-2 壁面に設置する場合

壁面に設置する場合は別売りの壁掛け金具(PA-Z50)が必要となります。最寄りのサービス窓口までご相談ください。

①



②

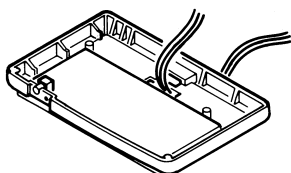


本機の壁掛け金具に取り付ける前に下記の準備が必要です。

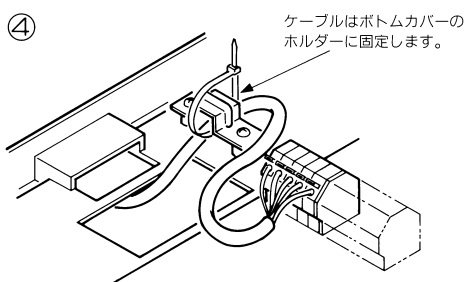
① AMP基板をはずします。

② 裏面のウエイトをはずし、ボトムカバーの通線孔ふたをはずします。

③



④



③ ②ではずした通線孔からケーブルを引き込み、はずしたAMP基板を取付ます。

④ ケーブルをボトムカバーのホルダーへ固定します。

壁掛け金具(PA-Z50)の設置方法は壁掛け金具に添付の設置説明書を参照してください。

5. 各機器への接続

接続する放送機器に添付している説明書も参考にしてください。

放送設備に複数のリモートマイクロホンを接続する場合

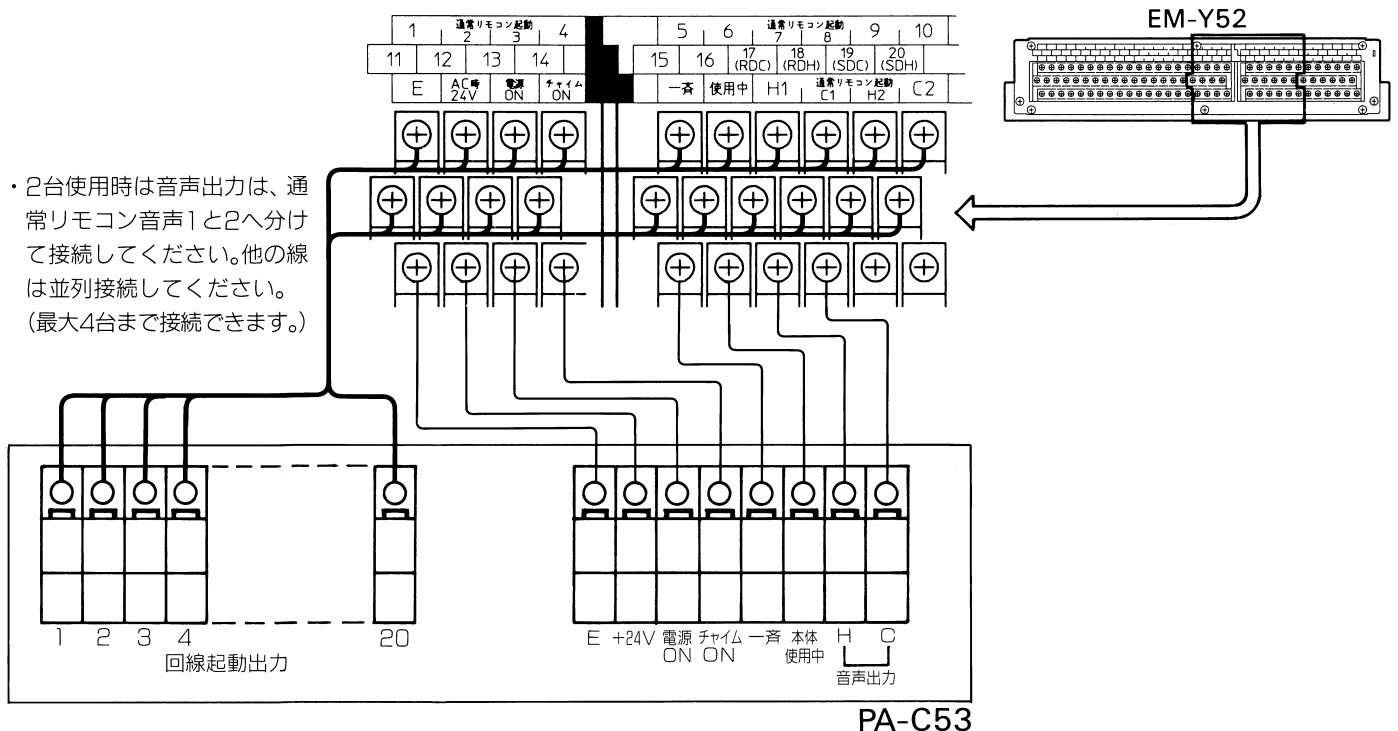
複数のリモートマイクロホンが同時に放送状態にあるとき(放送スイッチがオンのとき)、リモートマイクロホンの音声レベルが低下します。(2台が放送状態にあるときは、6dB低下します。)

設置時に音声レベルを確認し、放送設備内の通常リモコン音量またはリモコンマイク音量の調整を行ってください。

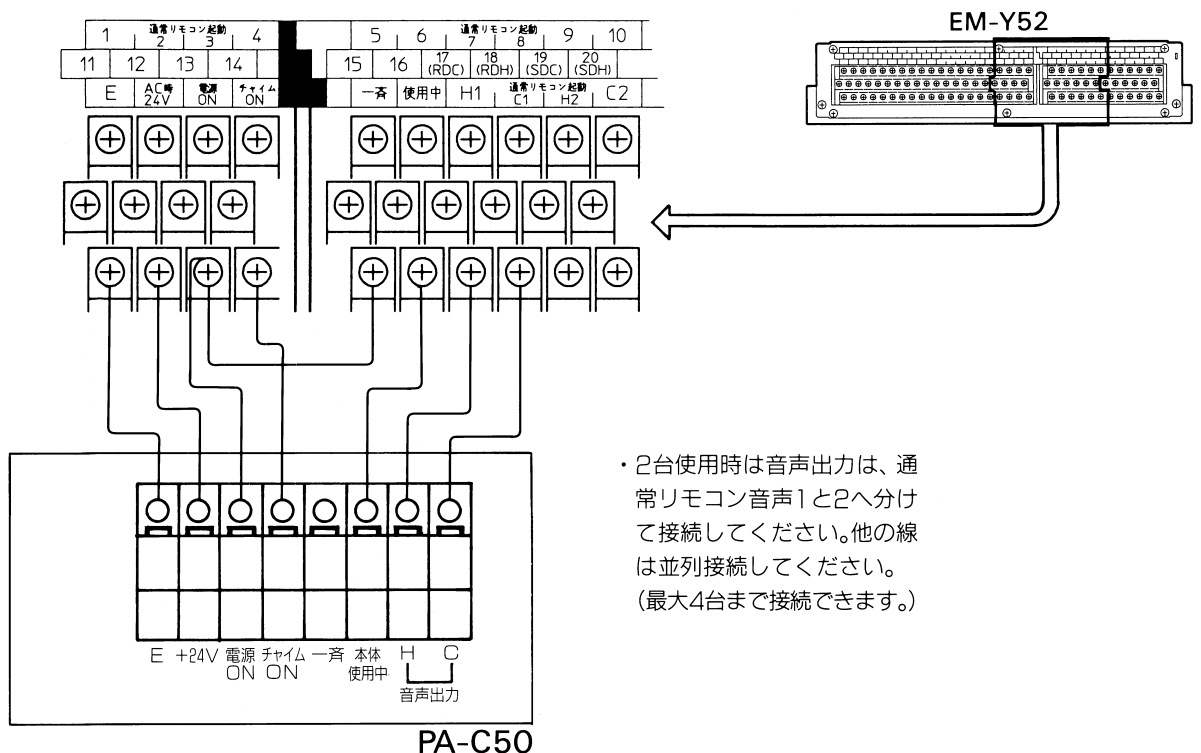
5-1 インテリジェント PA システム EM-E500/E500V/E500VD シリーズへの接続

(1) 一元放送の場合

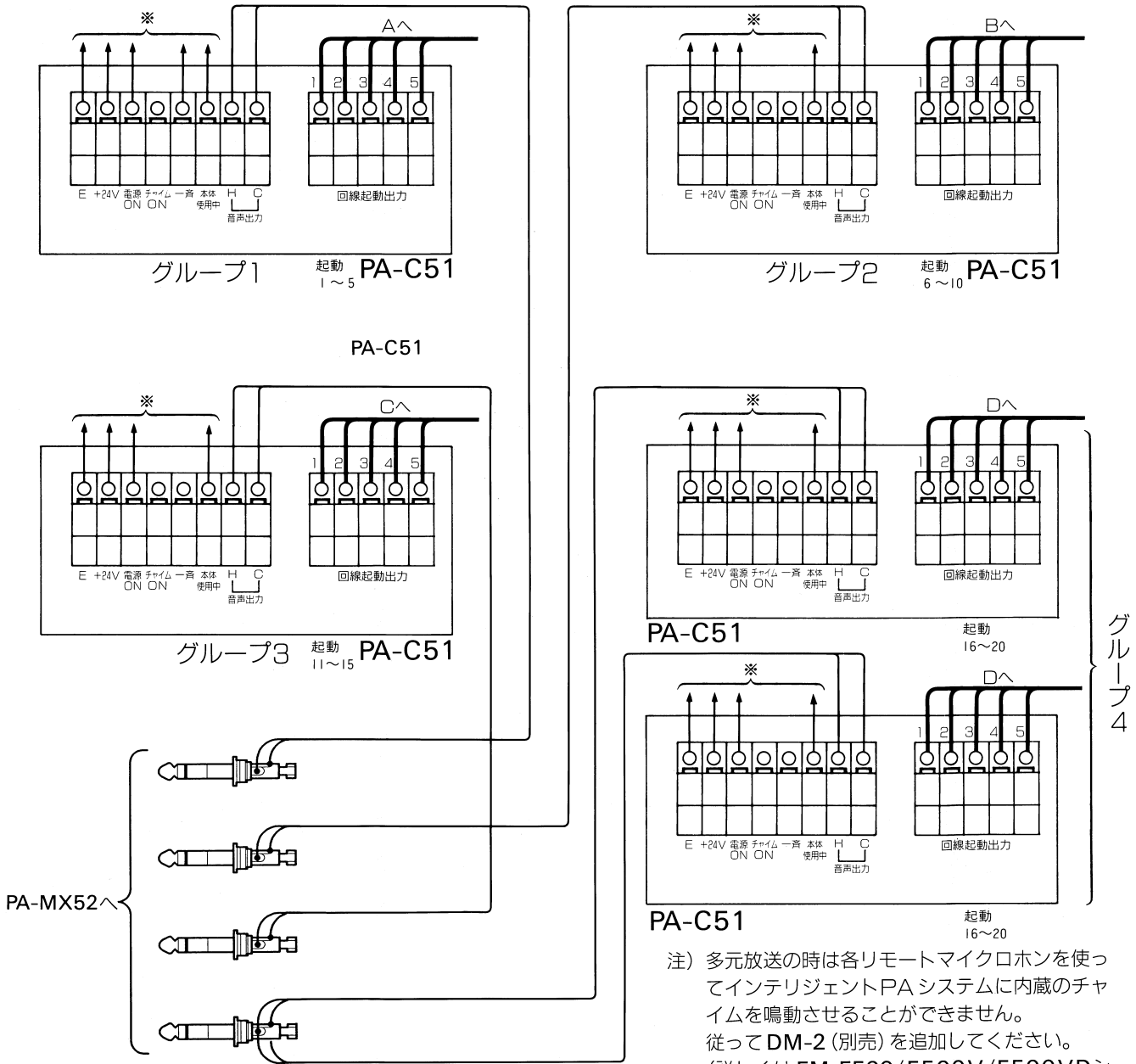
・ PA-C51/C52/C53 を接続する場合



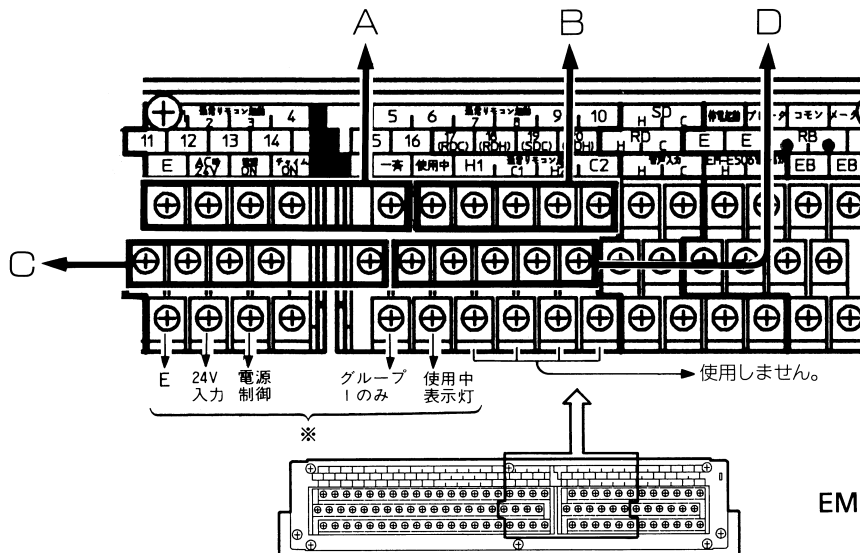
・ PA-C50 を接続する場合



(2) 多元放送の場合 PA-MX52 を使用した PA-C51 の接続例

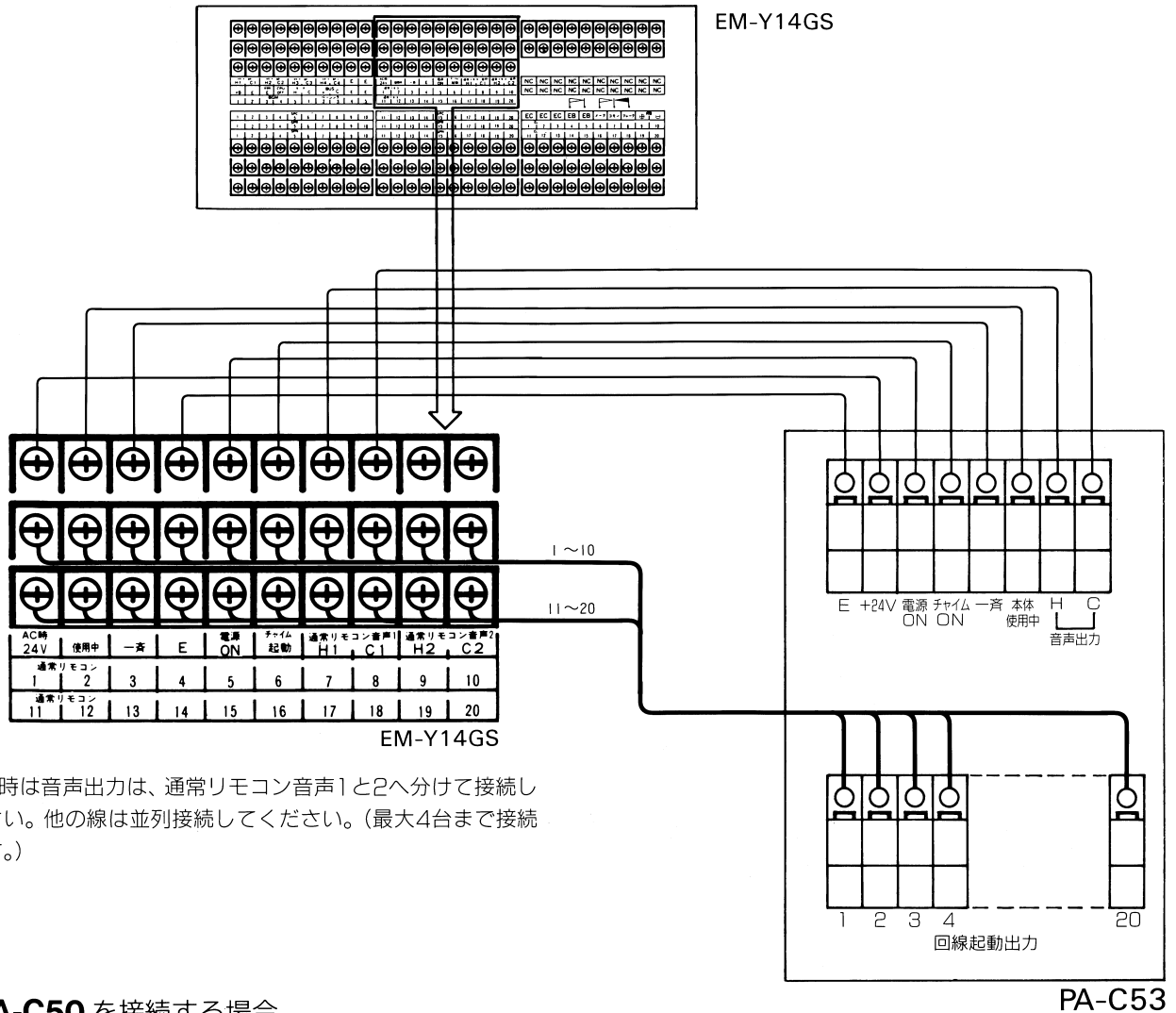


注) 多元放送の時は各リモートマイクロホンを使ってインテリジェントPAシステムに内蔵のチャイムを鳴動させることができません。従ってDM-2(別売)を追加してください。(詳しくはEM-E500/E500V/E500VDシリーズの設置説明書をご参照ください)



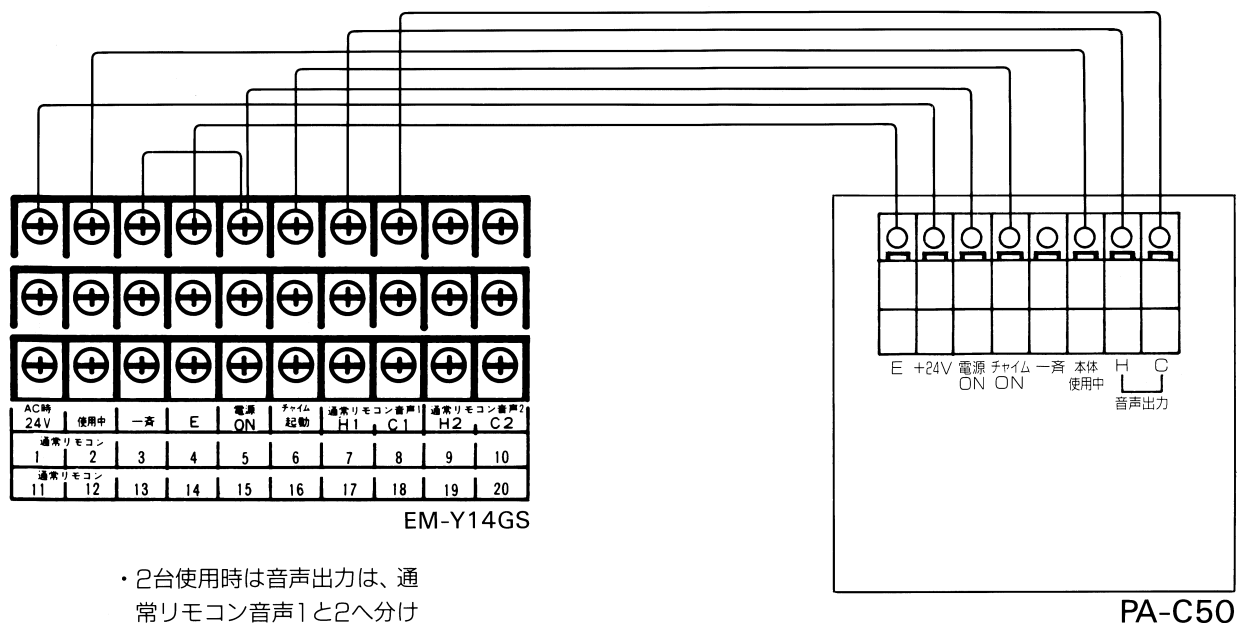
5-2 インテリジェントPAシステムEM-E200/E100シリーズへの接続

・PA-C51/C52/C53 を接続する場合



- ・2台使用時は音声出力は、通常リモコン音声1と2へ分けて接続してください。他の線は並列接続してください。(最大4台まで接続できます。)

・PA-C50 を接続する場合



- ・2台使用時は音声出力は、通常リモコン音声1と2へ分けて接続してください。他の線は並列接続してください。(最大4台まで接続できます。)

5-3 デスク型音響装置PAC-5200, 6200, 7200 シリーズへの接続

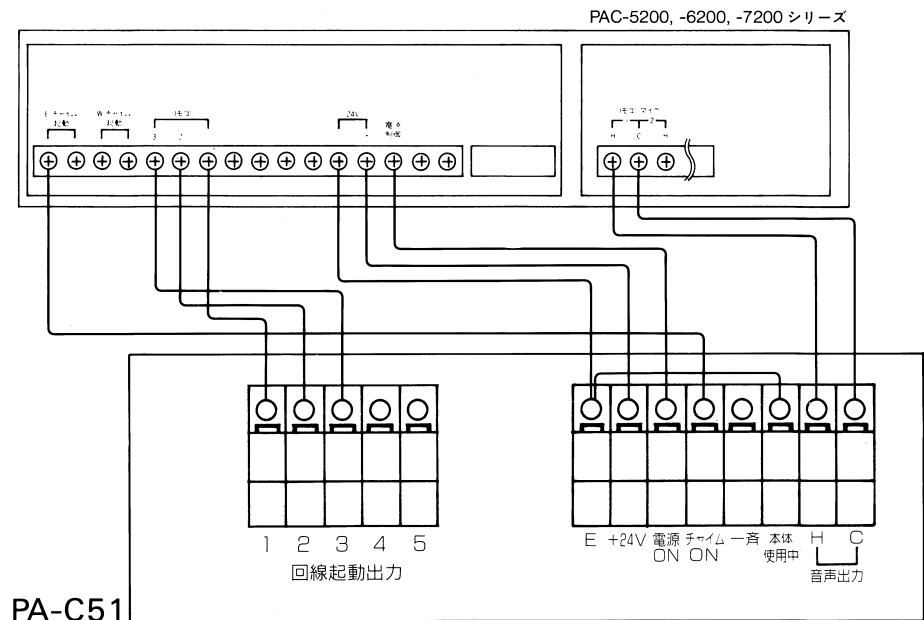
(1) 区域別制御を行う場合の接続例

PAC-5200 シリーズ (リレー J30220 (サービス部品扱い) 2個を本体に挿入のこと)

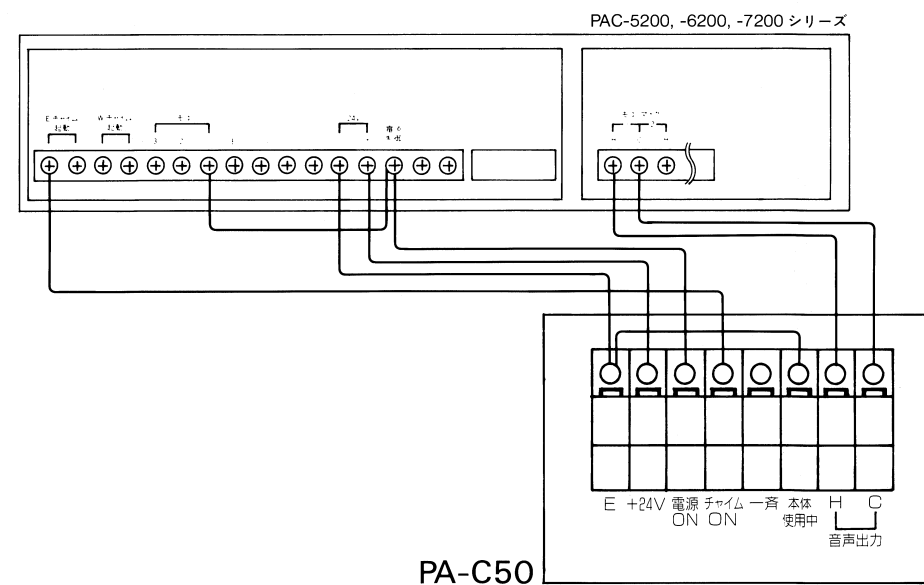
PAC-7200 シリーズ (リレー J30220 (サービス部品扱い) 1個を本体に挿入のこと)

PAC-6200 シリーズ (リレー追加の必要はありません)

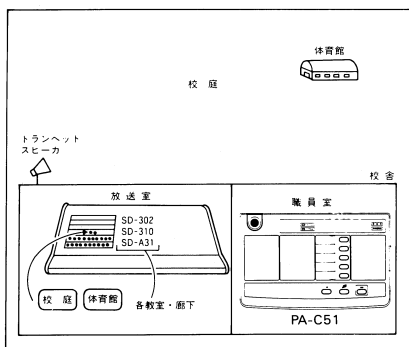
・PA-C51 を接続する場合



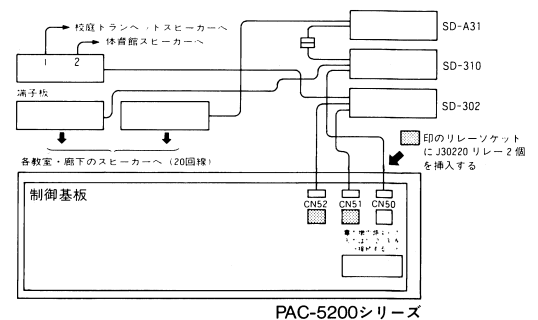
・PA-C50 を接続する場合



上記のPA-C51とPAC-5200シリーズの接続を行ない、さらにSD-A31, SD-310, SD-302の接続を行なうと次のように放送することができます。

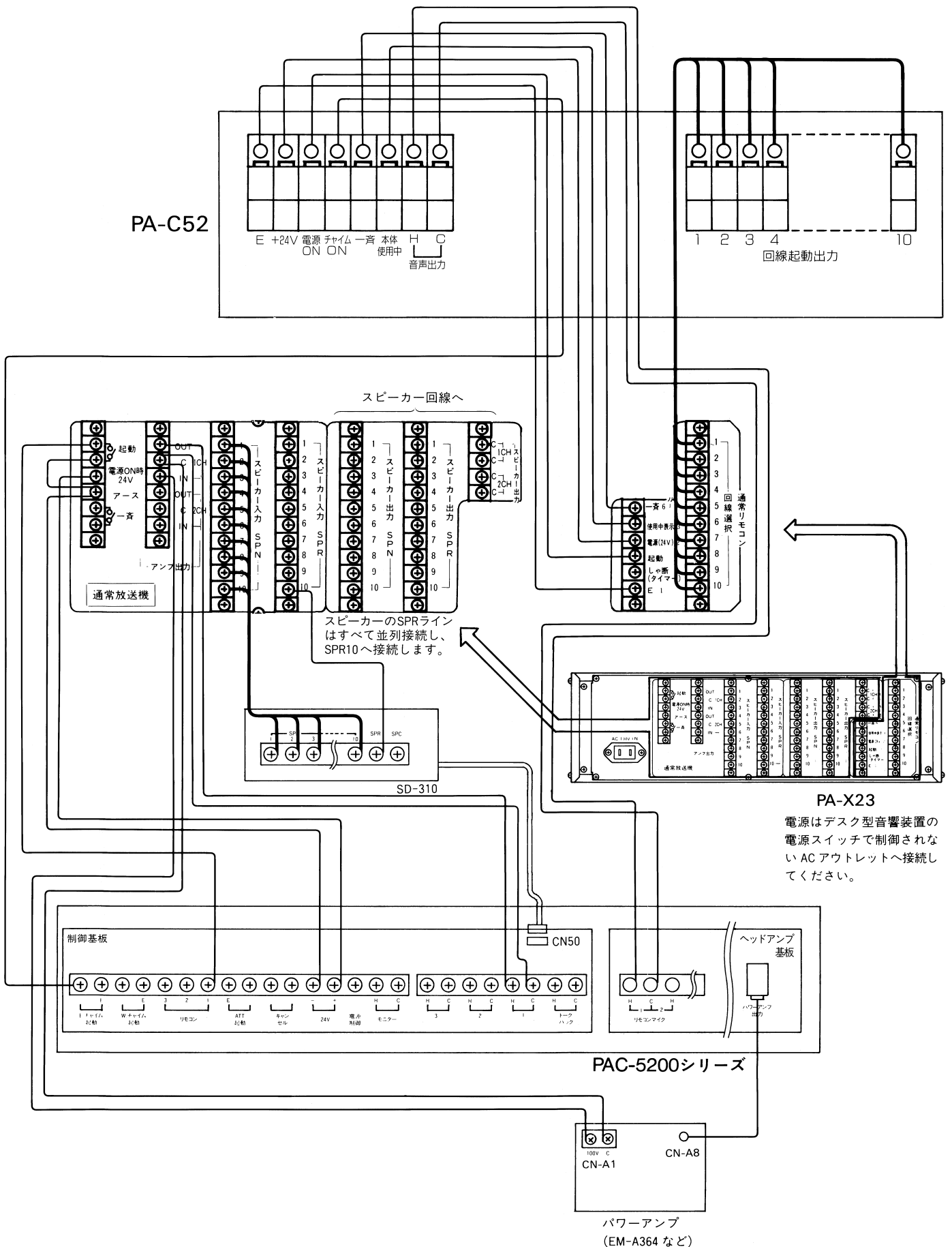


例
職員室のリモートマイクロホンより
①各教室、廊下群20回線の一斉呼び出し
②校庭への案内
③体育館への呼び出し
の3つをそれぞれ選んで放送する場合。



(2) 回線別制御を行う場合の接続例

- ・PAC-5200 に接続し、10回線の制御を行う場合 (PA-X23 が必要です)

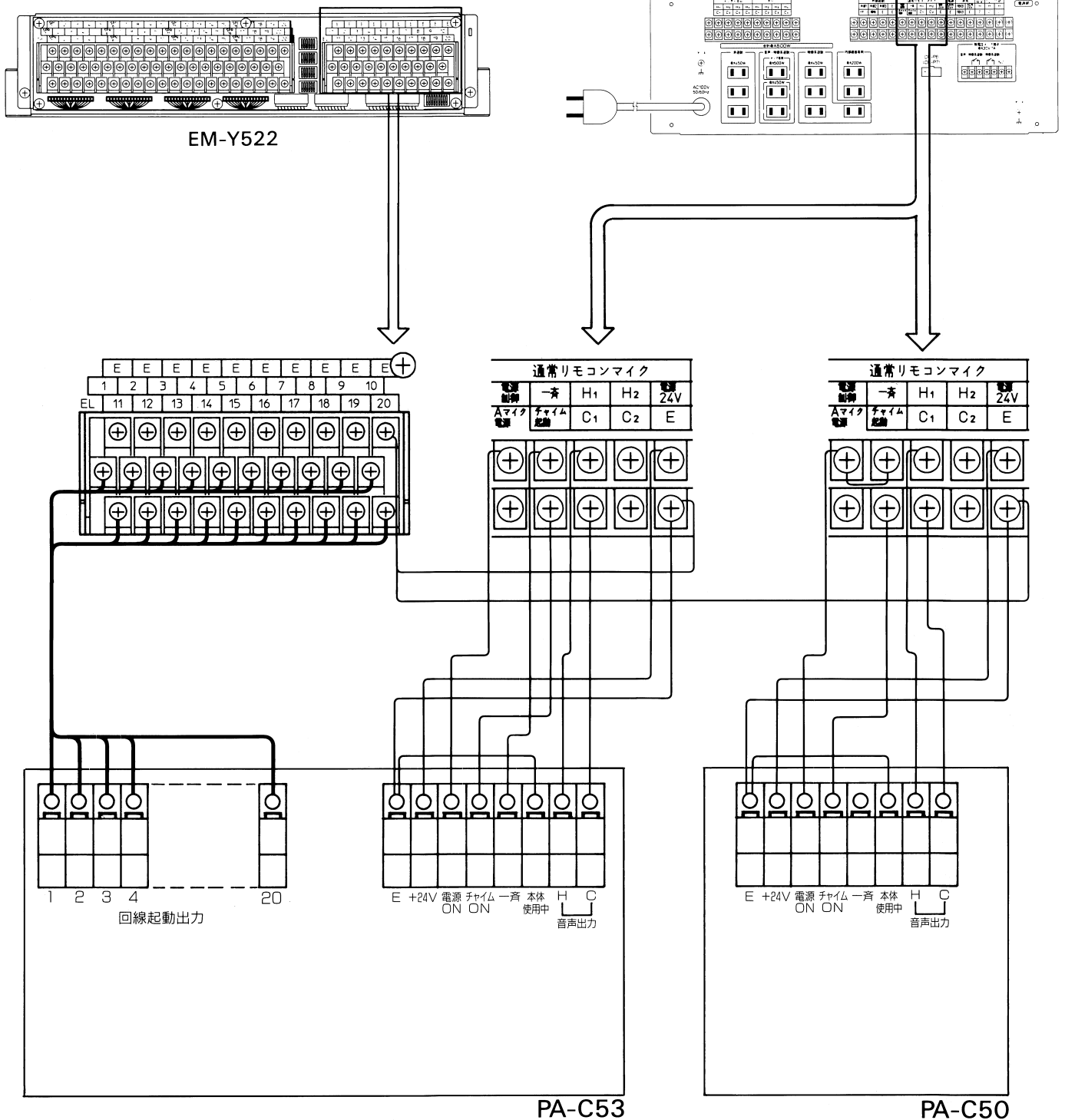


5-4 AVコミュニケーションシステムAV-8000/8200シリーズへの接続

・PA-C51/C52/C53 を接続する場合/ PA-C50 を接続する場合

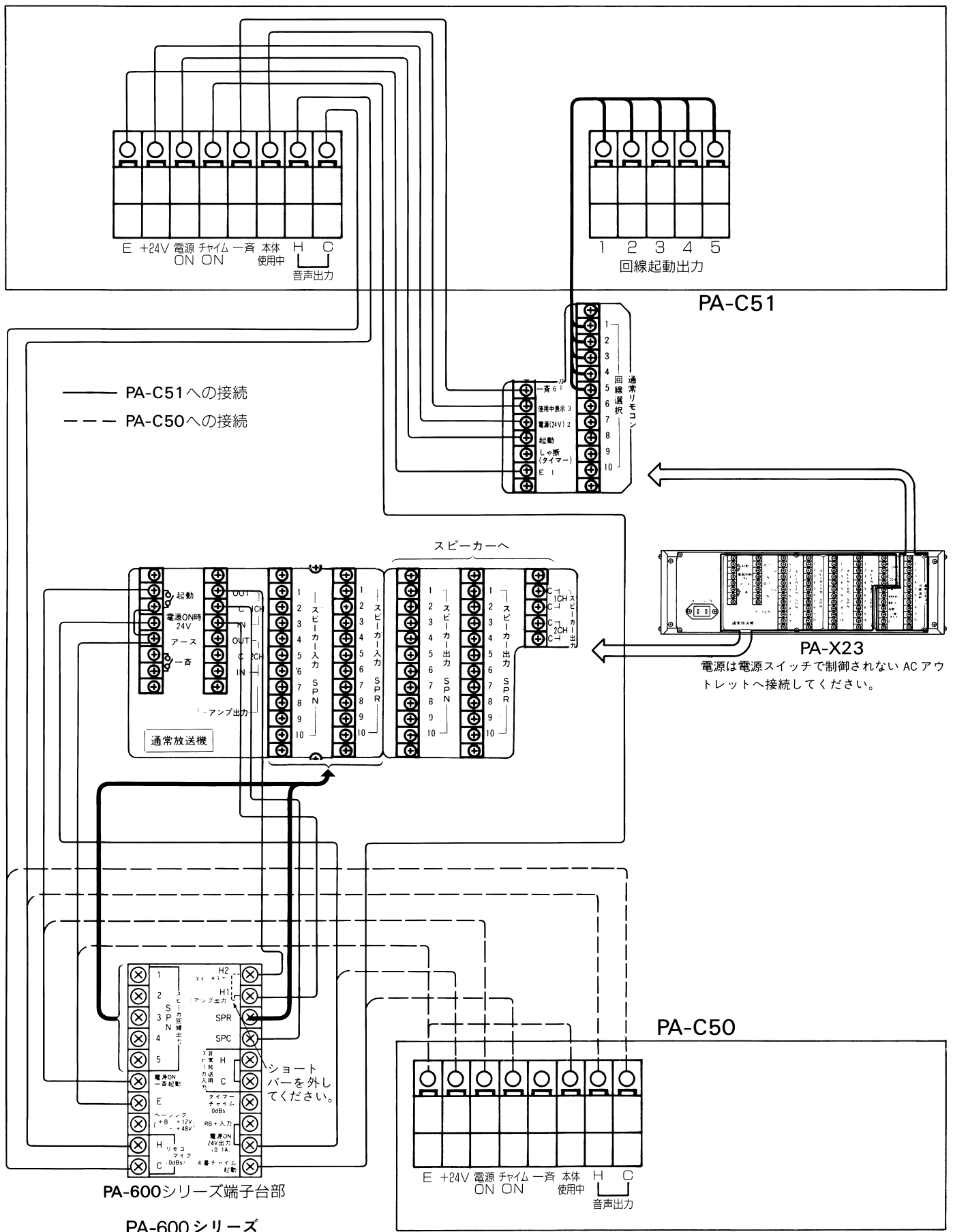
- ・2台使用時は音声出力は、(H1,C1) と (H2,C2) に分けて接続してください。他の線は並列接続してください。(最大4台まで接続できます。)

EM-Y522を2台以上接続している場合は、いずれか1台に接続してください。



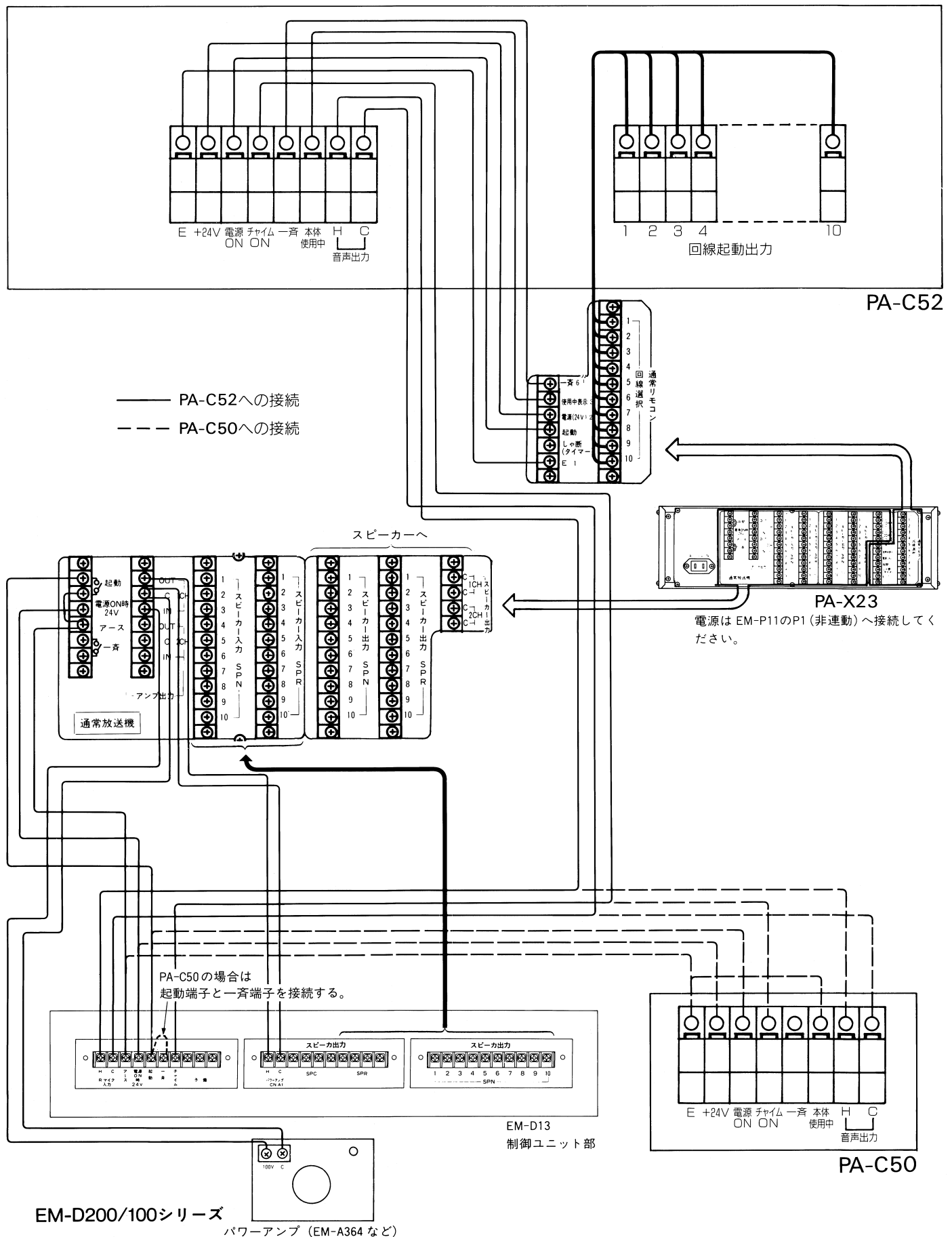
5-5 システムアンプPA-600シリーズへの接続

PA-C51 で5回線の制御を行う場合 (PA-X23 が必要です) / PA-C50 で制御を行う場合



5-6 インテリジェントPAシステムEM-D200/D100 シリーズへの接続

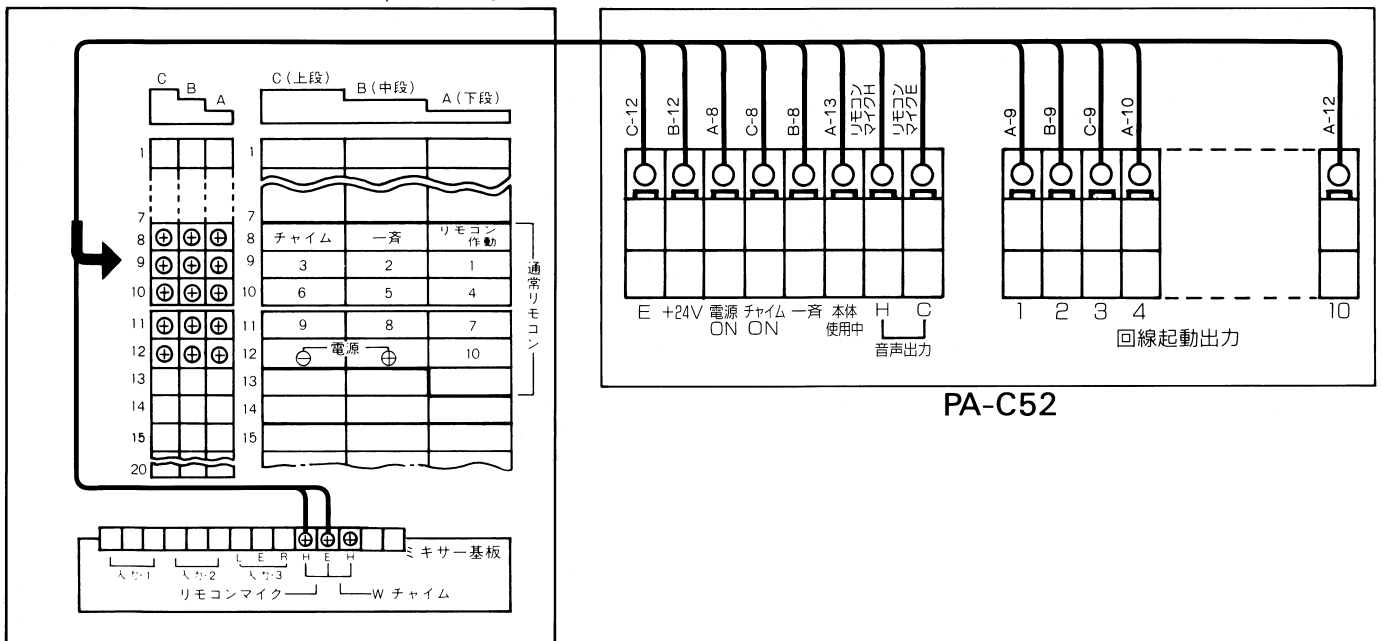
PA-C52 で10ブロックの制御を行う場合/PA-C50 で制御を行う場合



5-7 壁掛型非常用放送設備K-50S/50SV/50U シリーズの接続

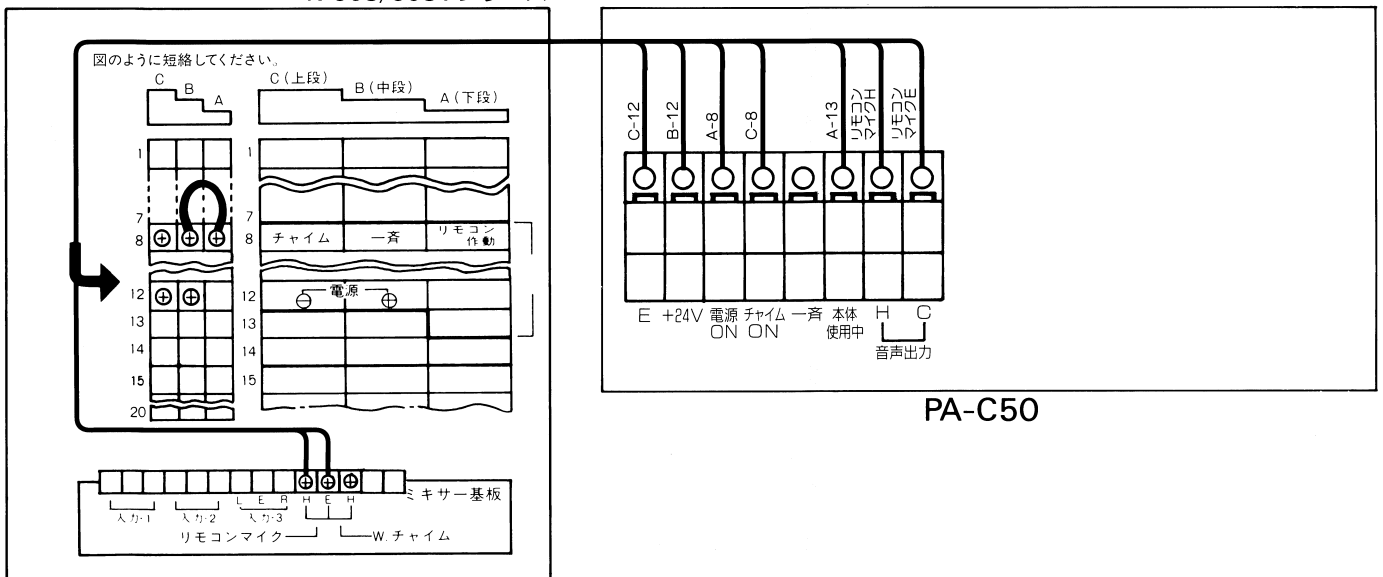
・K-50S/50SVシリーズにPA-C51/C52を接続する場合

K-50S/50SVシリーズ



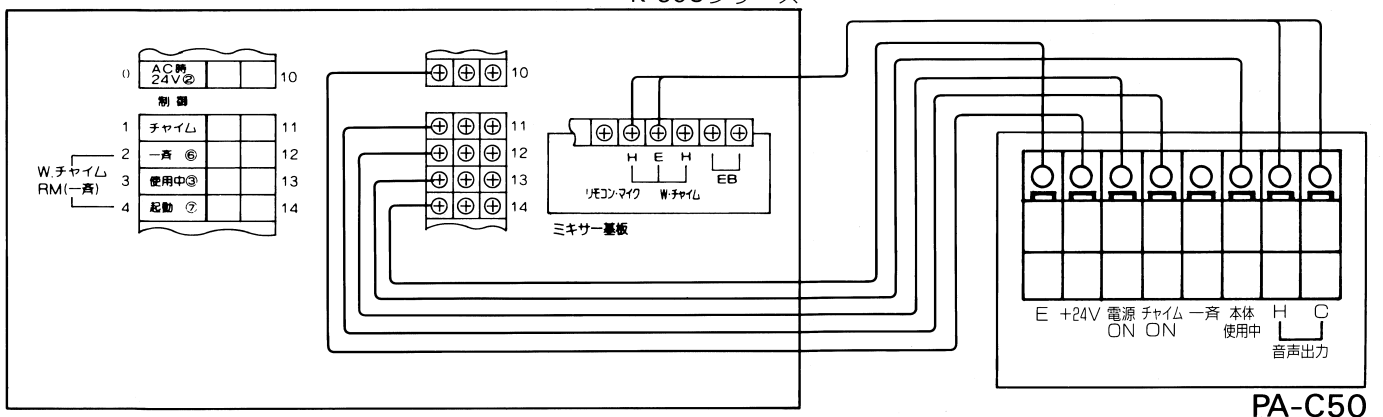
・K-50S/50SVシリーズにPA-C50を接続する場合

K-50S/50SVシリーズ

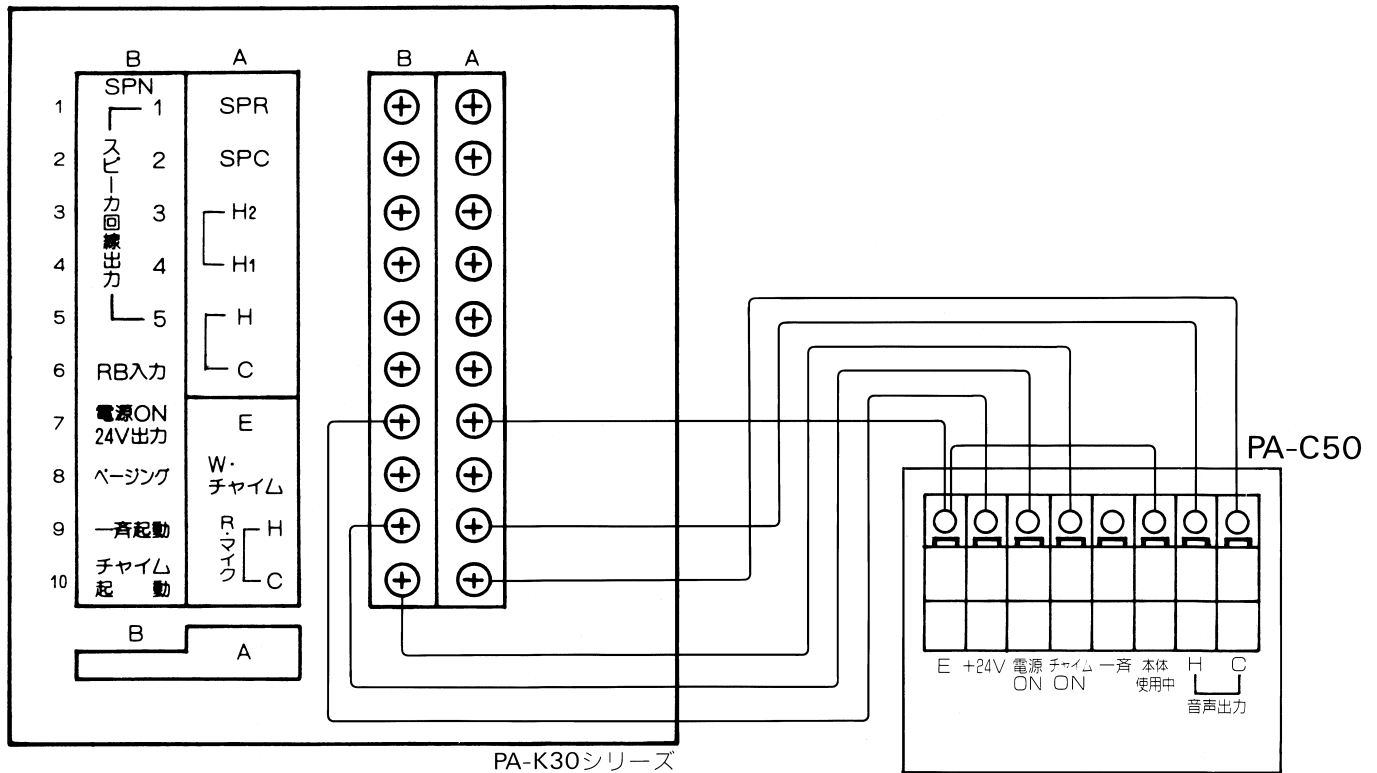


・K-50UシリーズにPA-C50を接続する場合

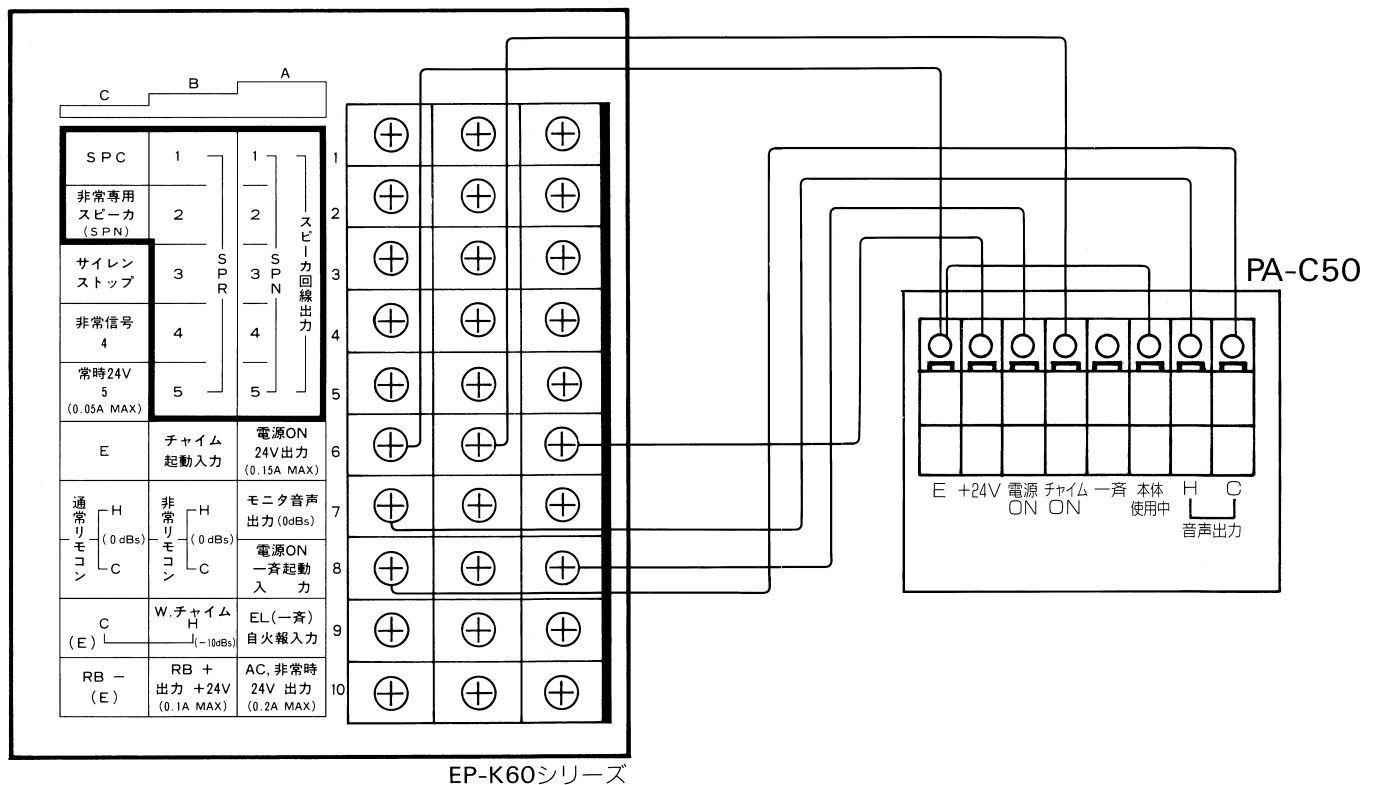
K-50Uシリーズ



5-8 ウォールシステムアンプPA-K30シリーズへの接続



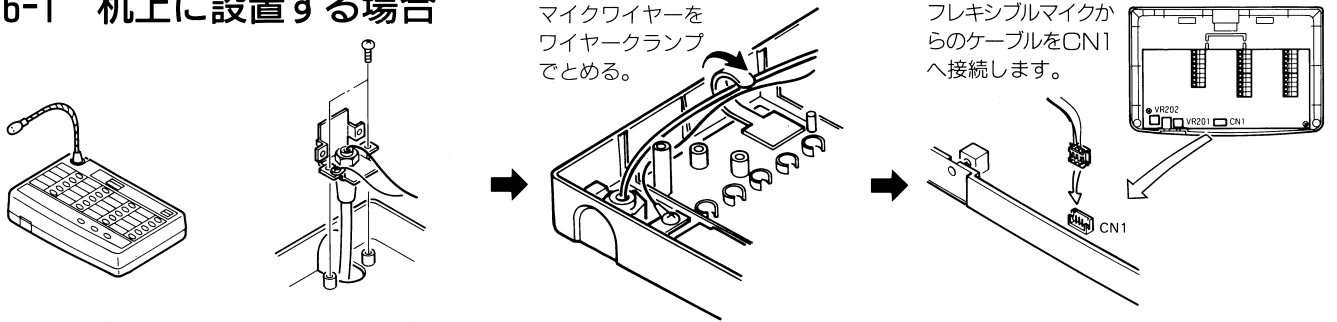
5-9 一斉式非常用放送設備EP-K60シリーズへの接続



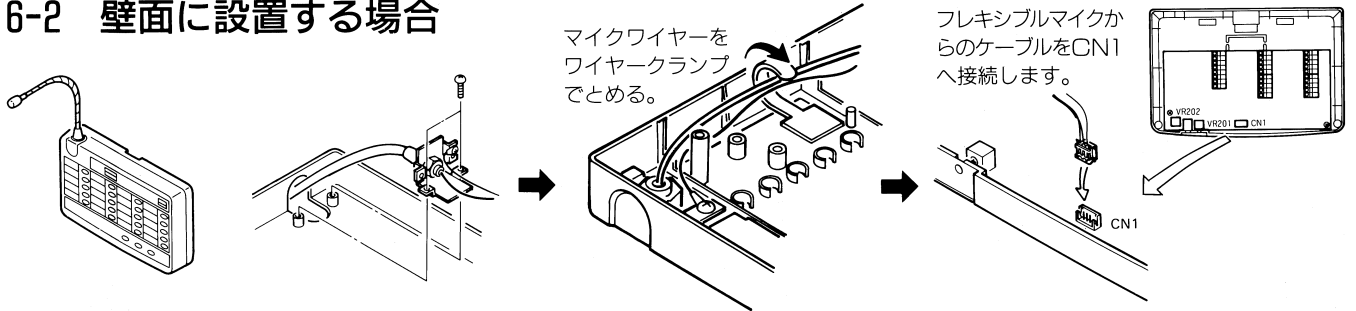
6. フレキシブルマイクの取り付けかた

フレキシブルマイクは設置状態により、2方向に取り付けることができます。
設置状態にあわせて取り付けてください。

6-1 机の上に設置する場合



6-2 壁面に設置する場合



ご注意

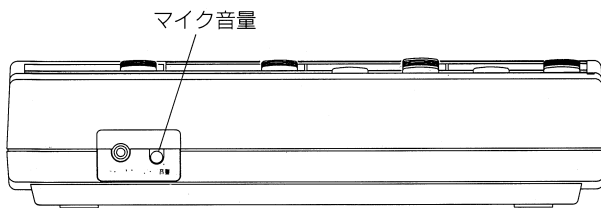
フレキシブルマイクをPA-C50/C51/C52/C53に取り付ける場合、取り付けネジは空回り（ネジバカ）しないように締付けてください。

また、フレキシブルマイクの金具はパネルに押し付けてすきまができないように取り付けてください。

7. 音量の調整

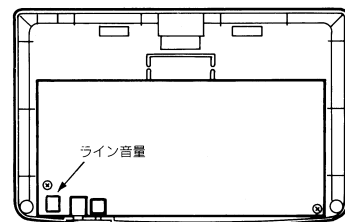
マイク音量ボリューム

フレキシブルマイクの音量を調整します。



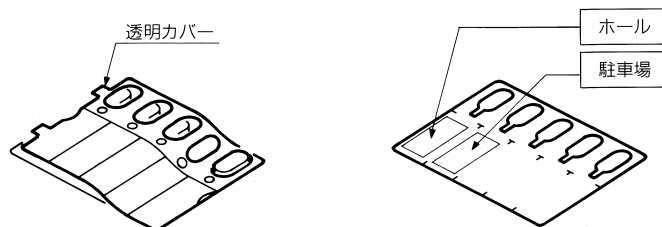
ライン音量ボリューム

ライン入力に接続された機器の音量を調整します。



8. ネームカードへの記入のしかた

- ① ネームカードの透明カバーをはずします。
- ② ネームカードに放送先名を書き入れます。
放送先名を書き入れる場合、ラベルワープロなどを利用することにより、容易に美しく仕上げられます。
- ③ ネームカードの透明カバーを取り付けます。
透明カバーには保護フィルムが貼ってあります。はがして、お使いください。



JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12